

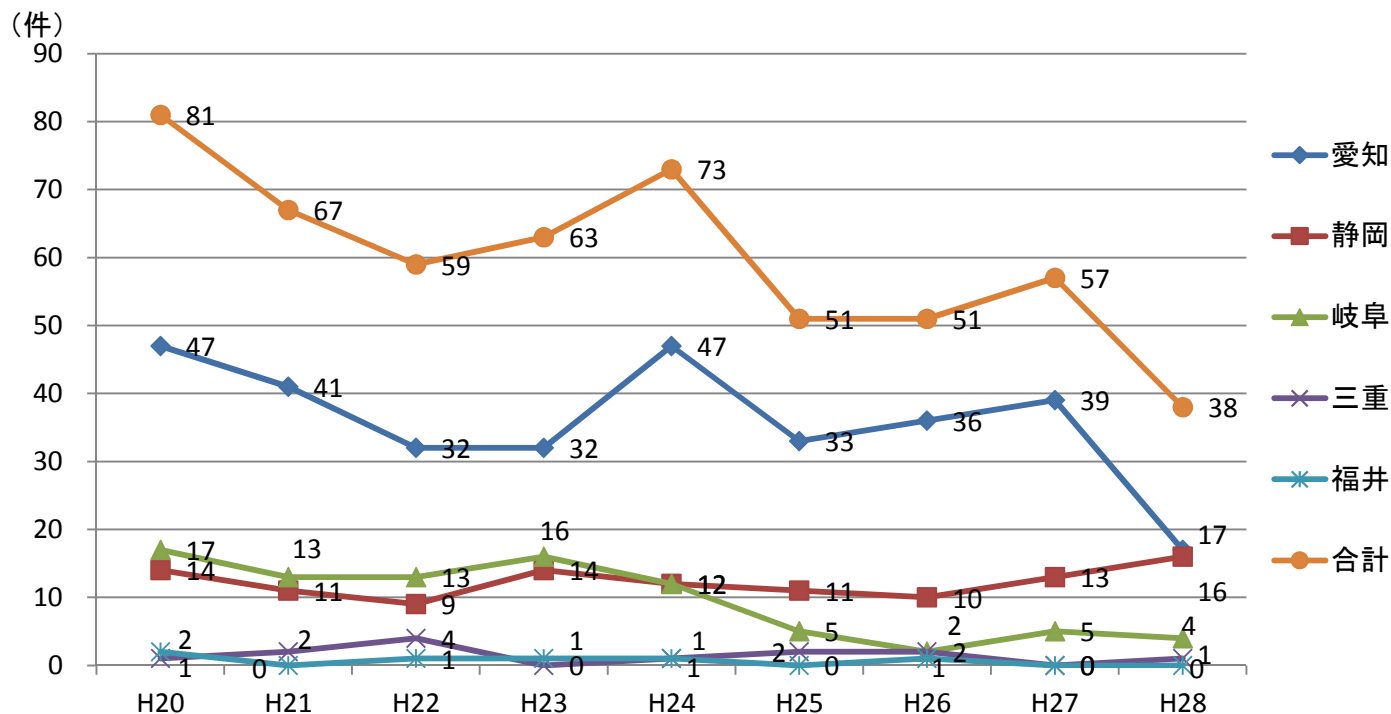
# 【バス】車内事故防止

## 1. 車内事故発生状況の推移

長期的には全体的に減少傾向。

愛知のH28年件数が前年の半数以下と著しく減少した。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
愛知	47	41	32	32	47	33	36	39	17
静岡	14	11	9	14	12	11	10	13	16
岐阜	17	13	13	16	12	5	2	5	4
三重	1	2	4	0	1	2	2	0	1
福井	2	0	1	1	1	0	1	0	0
合計	81	67	59	63	73	51	51	57	38



注) (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」より作成

## 2. 主な取組

### 「安全プラン2009」で示された施策

#### <路線バス>

- ・停留所発進時における安全基本動作の徹底
- ・バスが停車してから離席する「ゆとり乗降」の啓発
- ・乗客が着席してから発車すること及び車間距離を確保する「ゆとり運転」の励行
- ・「ゆとり運転」の点呼時における徹底

#### <貸切バス、高速バス>

- ・乗客へのシートベルト着用の徹底

#### <バス全体>

- ・車内事故防止キャンペーン（7月）の実施
- ・安全輸送決議

# 【バス】車内事故防止

## 2. 主な取組

### 中部ブロックで実施した施策

- ・車内事故防止教室の開催（運輸局）
- ・旅行業界へのシートベルト着用協力要請（愛バス協）
- ・車内事故防止キャンペーンの自治体への広報依頼（静バス協）
- ・県独自の実施要綱の設定（岐バス協）
- ・バス乗り方教室の実施（三バス協、福バス協）
- ・他県作成資料の水平展開（福バス協）

### 今後も事故件数削減を継続して行くには

- ・利用者への更なる周知（車内での周知、車外での周知）  
車内事故件数が削減すればするほどに利用者の協力が不可欠
- ・ドライブレコーダーの更なる活用（運転者の所作確認、優良運転者の発掘・水平展開）

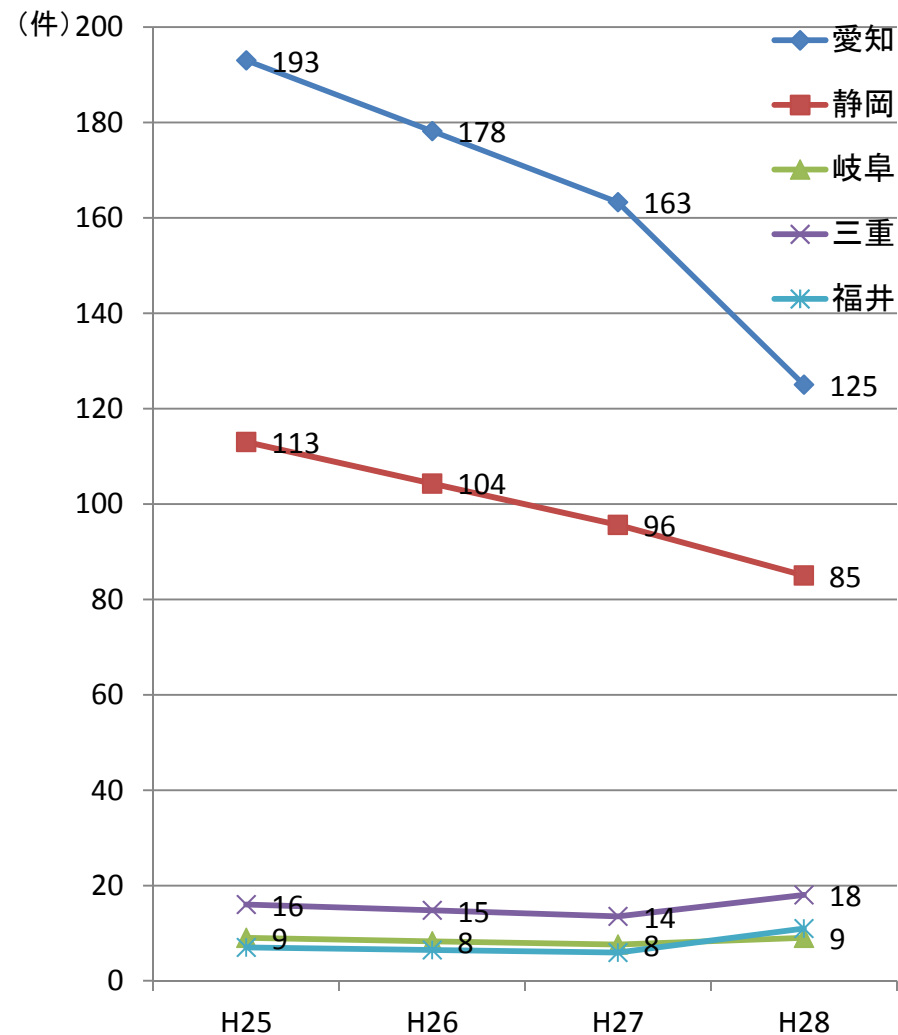
# 【タクシー】出会い頭事故防止

## 1. 出会い頭事故発生状況の推移

全体的に減少傾向。

愛知のH28年件数が前年の23%減と著しく減少した。

	H25	H26	H27	H28
愛知	193	178	163	125
静岡	113	104	96	85
岐阜	9	8	8	9
三重	16	15	14	18
福井	7	6	6	11
計	338	312	286	248



注) (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」より作成

## 2. 主な取組

### 「安全プラン2009」で示された施策

#### ◆重点削減目標

交差点における出会い頭事故の防止：平成27年に286件まで削減（平成25年時点で338件）

#### ◆重点削減目標に向けた具体促進策

信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の徹底

（2段階停止の習慣づけ、アクセルからブレーキへの足乗せ換え動作の習慣づけ）

## 2. 主な取組

### 中部ブロックで実施した施策

- ・愛知県が主催する「自動車安全技術プロジェクトチーム事故分析WG」に参画  
(名夕協、愛夕協)  
会員事業者のドラレコデータを提供 (参加事業者 名夕: 29者、愛夕: 14者)
- ・労働局と連携し長時間労働の削減等職場環境面での事故防止 (静夕協)
- ・無事故無違反ドライバーコンテストの開催 (岐夕協)
- ・各種講習等での周知徹底 (三夕協、福夕協)

### 今後も事故件数削減を継続して行くには

- ・信号のない交差点通過時の安全に係る基本動作の習慣化の更なる徹底  
ドライブレコーダーを活用し、適切に基本動作が履行されているか確認
- ・ドライブレコーダーの更なる普及・活用  
確認地点を絞り込むなど管理者・運転者双方の精神的負担に配慮した活用

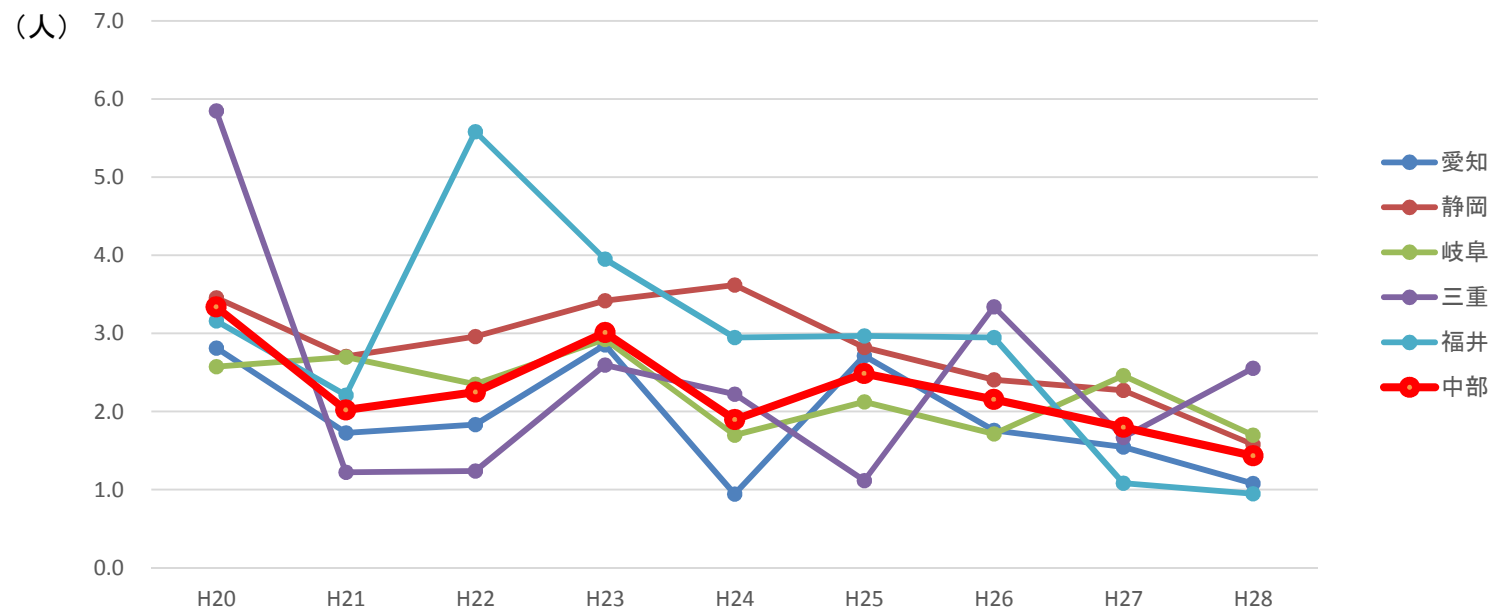
# 【トラック】死亡事故件数削減(1万台あたり「2.0」件以下へ)

## 1. 事業用トラックが第1当事者となる保有車両数1万台あたりの死者件数の推移

元々件数の少ない県ほど年毎の変動幅が大きいが、全体的にはH25年から減少傾向にあり、平成28年は殆どの県で目標達成。

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
愛知	2.8	1.7	1.8	2.9	0.9	2.7	1.8	1.5	1.1
静岡	3.5	2.7	3.0	3.4	3.6	2.8	2.4	2.3	1.6
岐阜	2.6	2.7	2.3	2.9	1.7	2.1	1.7	2.5	1.7
三重	5.8	1.2	1.2	2.6	2.2	1.1	3.3	1.7	2.6
福井	3.2	2.2	5.6	4.0	2.9	3.0	2.9	1.1	0.9
中部	3.3	2.0	2.2	3.0	1.9	2.5	2.2	1.8	1.4

※保有車両数には軽自動車も含む。



## 2. 主な取組

### 「安全プラン2009」で示された施策

#### ◆重点削減目標

事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数1万台当たり「2.0」件以下とし、各都道府県（車籍別）の共有目標とする。

車両数1万台当たりの死亡事故件数が高い地域において、重点事故防止対策に加え、当該地域の事故分析を最大限に活用し、交通事故の発生状況に即した事故防止対策を樹立し、上記目標のより確実な達成を推進する。

#### ◆重点削減目標に向けた具体的促進策

- ・横断歩行者事故防止のための安全確認の徹底
- ・交差点右左折における安全確認の徹底
- ・追突事故防止のための車間距離確保と制限速度遵守の徹底
- ・高速道路における漫然運転防止の徹底
- ・運転記録証明書の積極的な活用への協力要請
- ・事業用トラック重点事故対策マニュアルの策定（横断歩道事故編・交差点事故編）
- ・事故防止対策セミナーの開催・受講の促進
- ・ドラレコ及びデジタコ・A S V等の安全管理機器のより積極的な導入の促進



## 2. 主な取組

### 中部ブロックで実施した施策

- ・各種運動の展開
- ・各種セミナーの開催
- ・各種事故防止機器導入に対する助成
- ・交通事故防止コンテンツ（eラーニング）の活用、周知（愛ト協）
- ・独自目標の設定（三ト協、福ト協）
- ・事故類型に対応した研修会の開催（岐ト協）

### 今後も事故件数削減を継続して行くには

- ・地域の実情に合わせた取組の計画・実践  
会員数が多いため、支部等各地区での取組も重要
- ・追突事故の撲滅  
死者数の4分の1を占めることから、衝突被害軽減ブレーキ搭載車の普及促進等、ハード面を中心とした対策が重要

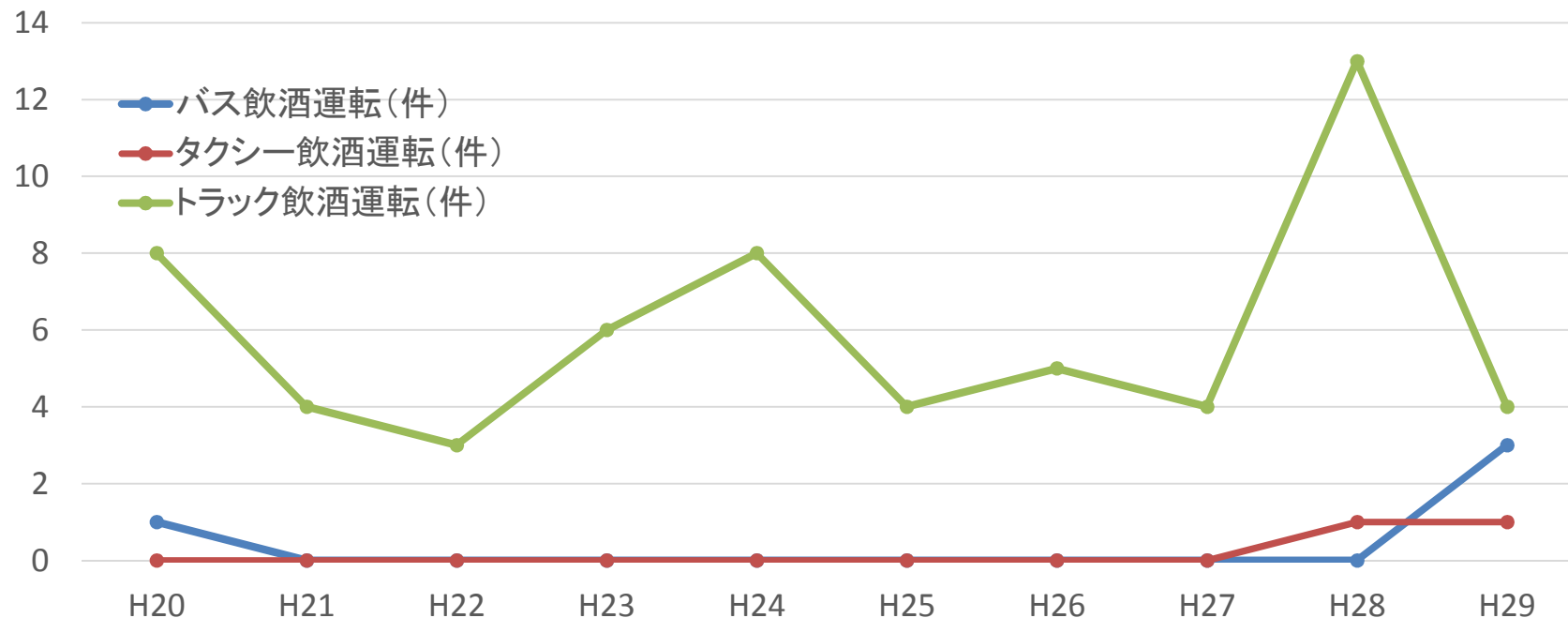
# 【全体】飲酒運転撲滅

## 1. 飲酒運転（疑い例も含む）件数の推移（全体）

トラックは例年未達成。

バス・タクシーはしばらく達成していたが、近年連続して発生。

①バス										
年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29【速報値】
飲酒運転(件)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
②タクシー										
年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29【速報値】
飲酒運転(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
③トラック										
年	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29【速報値】
飲酒運転(件)	8	4	3	6	8	4	5	4	13	4



## 2. 主な取組

### 【再掲】静岡県トラック協会（静岡県貨物自動車運送事業適正化実施機関）の取組

- ・飲酒運転根絶に向けた継続フォローの実施（以下の事項）
  - 飲酒運転防止対策マニュアルの配付・活用
  - 飲酒運転防止ポスターの配付による周知徹底
  - 適正化事業巡回指導時における飲酒運転防止宣誓書の提出指導

### ※取組結果（静岡県のトラックによる飲酒運転件数）

	平成28年	平成29年 (速報値)
飲酒運転件数(件)	7件	0件

### 今後も飲酒運転撲滅の取組を継続して行くには

- ・とにかく周知していく
  - 事故との違いを認識（意識の持ち方で撲滅可能）
  - 点呼の重要性（運転者任せにしない）
  - 健康管理の重要性（常習性の有無の確認）